

平成23年度 臨時理事会議事録（第172回）

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成24年05月18日（金）19：00～20：30
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第1研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）佐藤 嘉彦、片 忠夫、山田 力
（専務理事）上田 英之
（常務理事）清水 忠、木村 徳善、徳本 進、吉岡 去私
（理事）金子 理人、本田 衛義、国島みどり、高柴 一彦、
佐々木生道、小池 光、森本 珠水、中村 浩人、
吉野 大成、伊藤 敏光、和田 幸一
欠席理事：（会長）河野 太郎
（理事）青木 文明、大澤 康之
4. 出席監事： 井上 敏郎
欠席監事： 内海 雄三
5. 議長選出： 上田 英之専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：小池 光理事、吉野 大成理事を選出
7. 書記： 橘 小由里広報委員を指名
8. 議 事

議事に入る前に片副会長より、「各本部それぞれ事業内容の方針等を議論している最中のお忙しい中ですが、臨時理事会ということで開催をしたいと思います。内容を十分理解していただき、それぞれの立場でご意見があればいただきたいと思います。また、新公益財団法人の認可がありました。改めてのちほど報告があると思います。合わせてよろしくお願いします」とのあいさつがあった。

1) 平成24～25年度の執行体制について

(1) 経過報告

山田副会長より、現在までの経過報告があった。

(内容)

- ・ 5月8日付 要請書が河野会長宛て提出された。
- ・ 5月10日 佐藤純夫役選委員長と河野会長が電話にて話しをする。
- ・ 5月11日 河野会長が理事会へ出席。
- ・ 5月16日 議員会館にて河野会長・山田副会長・上田専務・佐藤役選委員長・石渡役選副委員長・桎役選副委員長の6名で話し合いをもった。
- ・ 河野会長より、常務の分担が決まらなければ前へ進めないののでぜひご協力をいただきたい。その上で、「①総務本部長になっていただく方がいないか再度確認する。②どうしても2名とも教育本部でという場合は、正・副でよいかどうかの確認と承認を。③その場合は、総務本部長は総括常務が兼務することでやむを得ない。」という提案があり、5月16日話し合いへ出席した5名が了承した。

《質疑・応答・意見》

- ・ 木村教育本部長より

今後この要請書の扱いはどうなるのか。

(回答)会長は要請書の件にあまり触れず、前に進む方向でご協力いただきたいとのことでした。

- ・ 木村教育本部長より

会長の判断は正しかったと思うが、この要請書により理事会の機能が遅れた。今後このよう

なことがあった場合を、別に考えていかなければいけない。

・佐々木理事より

会長が「認識の違いによる誤解…」ということだが、具体的にあればお聞かせ願いたい。
(回答) 具体的には会長から話が出ていない。

・佐々木理事より

それがわからなければ、要請書の扱いも決められないのではないか。

(回答) 前回の理事会へ会長が出席され、会長一任でお願いしたいという旨の話をされているので、それを受けご理解いただきたい。

(2) 審議事項

①来期教育本部の体制について

上田専務理事より、資料に沿って答申書の内容が確認され、希望の重複している教育本部長についてみなさんに議論いただきたいとの説明があった。

《質疑・応答・意見》

・和田理事より

教育本部について、教育本部長と副本部長を設定するのであれば、誰がと言う前にその体制自体を理事会で先に審議・承認するべきではないか。

・上田専務より

そのとおりですので、*教育本部へ本部長と副本部長をおく。*教育本部長を岡田さんに、副本部長を森本さんにする。という2点について合わせて提案いたします。

・片副会長より

まず第一に教育本部の体制についての審議で、固有名詞が出てしまっているが、その後誰にするかという審議で、別々の審議内容です。

・岡田理事より

常務理事が3名いて3本部あるのだから、本来はそれに当てはめるべきだと思う。副本部長をおくということに私は同意していません。

・本田理事より

同意していないというが、それでよいのか。

・岡田理事より

本意ではないが、理事会決定であるのならば従い、決定を重んじて職を行う。

・佐々木理事より

規約・運営規則上本当に副本部長をおく事が評議員会でとれるのか。

・上田専務より

今回、規約上のいろいろな矛盾が出てきたので、今後、規約や役員体制について見直す必要がある旨評議員会で説明をする。

・中村理事より

本部・役職等について希望を優先というが、2名とも希望どおりでないのではないか。

・上田専務より

希望外の本部ではなく、希望の本部内で正・副という形をとりたい。

・佐藤副会長より

それぞれの想いはあると思うが、今後の評議員会・来年度の執行等期限を考え、ご理解いただきたい。

・森本理事より

上田専務・岡田理事・私の3人で話し合い、これ以上業務を遅らせることの方が資質を問われる事になるので、異例ではあるが年齢を鑑み、岡田教育本部長、私が教育副本部長と提案した。協力して運営していきたいのでご協力いただきたい。

- ・佐々木理事より
3人で話し合い決めたならよいが、ことさらに年齢で決めたというのはいかかなものか。
- ・上田専務より
調整して私が判断したとことと認識していただきたい。

上記話し合いが行われた結果、提案された

- *1 教育本部に本部長と副本部長をおく。
 - *2 岡田教育本部長、森本教育副本部長とする。
- という2つの案件について、承認された。

②会長推薦理事について

上田専務より会長推薦理事は6名枠であるが、事業規模・会員減少等の理由から1名欠員とし、総務本部：青木文明理事（厚木）、本田衛義理事（横浜）、教育本部：佐藤博一理事（伊勢原）、藤田浩介理事（横浜）、競技本部：和田幸一理事（平塚）の5名を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

2) 総務本部

(1) 報告事項

①公益財団法人の認定について

徳本総務本部長より、「本日、公益財団法人としての認定書をいただけてまいりました。本日付で認定されたことになります。2週間以内に登記せよとのことですので、6月1日に書類を添えて司法書士をとおし提出する予定であります」との報告があった。

②6月2日評議員会の予定について

徳本総務本部長、金子理事長より、6月2日の評議員会の予定について説明があった。

③平成23年度決算見通しについて

金子理事長より、資料に基づき平成23年度の決算見通しについて報告があった。

④教育本部専門委員について

教育の専門委員について50人に1人という提案があったが、各協会から多く出ている場合は総務本部から、減員して再提出する旨の事務手続きを行うという確認があった。

3) 監事報告

井上監事より、「難産の新組織でありましたが、公益財団法人としての最初の年でもありますので、しっかり運営していただきたいと思います。」とのあいさつがあった。

最後に山田副会長より、「みなさまご苦勞様でした。」とのあいさつがあり、臨時理事会が終了となった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成24年 5月 25日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印